

下水道工事(公共下水道)電子納品に関する特記

電子納品対象資料と資料の格納場所(図面及び写真納品に係る特記)。

提出頻度抽出に関する特記。

電子納品対象資料と資料の格納場所(図面及び写真納品に係る特記)提出頻度。

写真フォルダ(提出頻度)整理に関する特記。

舗装工出来形管理に関する特記。

下水道工事 家屋調査報告書に関する特記。

(参考 - 1)写真原本のフォルダ構成及び名称(撮影頻度) 整理例。

(参考 - 2)写真フォルダ(撮影頻度)整理例。

(参考 - 3)下水道工事 家屋調査資料の電子化について、フォルダ構成及び名称の整理例。

(参考 - 4)下水道工事 家屋調査報告書 ラベル様式例。

出雲市上下水道局下水道建設課

電子納品対象資料と資料の格納場所(図面及び写真納品に係る特記)

電子納品運用ガイドライン P15 図-3
ファイル・フォルダ名称について

図面ファイル
レベル2

図面ファイル名の定義

01	合成図(汚水幹)
02	合成図(汚水準)
03	合成図(× × 汚水主)
04	合成図(汚水管)
NN	舗装展開図(汚水幹)

図面番号は通し番号とする。
出雲地区 : 管渠名とする。
其他地区: 幹線名・管路番号とする。
一般図等については、管渠名は省略する。

写真フォルダ
レベル3

管渠別(フォルダ名)の定義

01	汚水幹
02	汚水準
03	× × 汚水主
04	汚水管

番号は通し番号とする。
出雲地区 : 管渠名とする。
其他地区: 幹線名・管路番号とする。

レベル4

工種別(フォルダ名)の定義

開削部	NN 管路土工	推進部	NN 推進工	共通	NN 0号マンホール工	NN 道路付属物復旧工
	NN 管布設工		NN 立坑内管布設工		NN 1号マンホール工	NN 道路植栽工
	NN 管基礎工		NN 仮設備工		NN 2号マンホール工	NN 既設構造物撤去工
	NN 管路土留工		NN 送排泥設備工		NN 3号マンホール工	NN 構造物復旧工
	NN 埋設物防護工		NN 泥水処理設備工		NN 塩ビマンホール工	NN 工事用道路工
	NN 管渠路面覆工		NN 推進水替工		NN 楕円マンホール工	NN 残土受入施設工
	NN 補助地盤改良工		NN 立坑工		NN 取付管・桝工	NN 電力設備工
	NN 開削水替工				NN 補助地盤改良工	NN 用水設備工
	NN 地下水低下工				NN 舗装撤去工	NN 防塵対策工
					NN 舗装復旧工	NN 汚濁防止工
					NN 区画線工	NN 防護施設工
					NN 道路付属物撤去工	

上記以外の工種については、任意で作成すること。

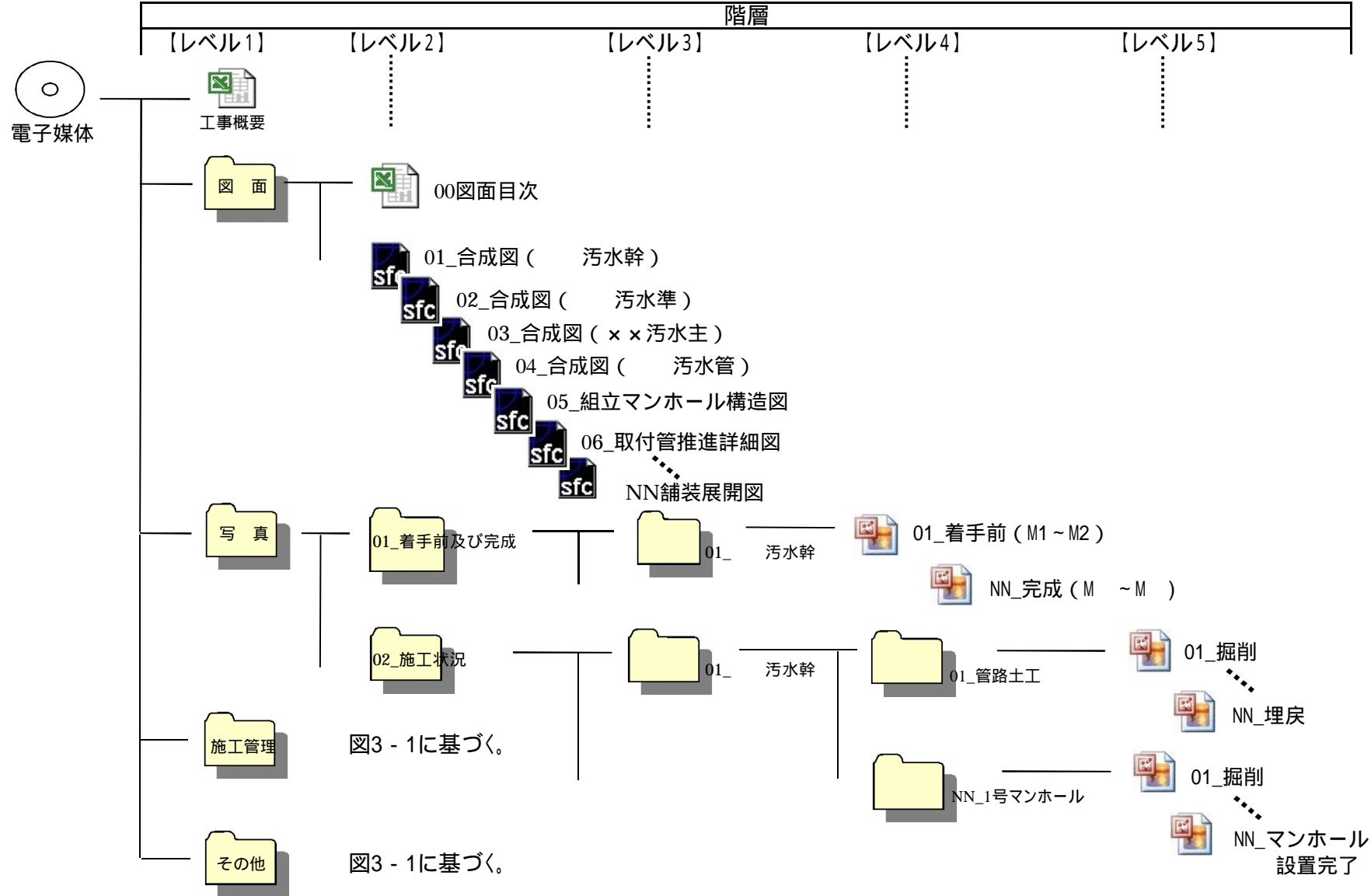
提出頻度抽出に関する特記

提出頻度の抽出については、次のとおりとし、整理格納ものとする。なお、詳細については、監督員協議を行うこと。

- 公共下水道事業(出雲地区): 各管渠の代表箇所とする。
- 公共下水道事業(平田・大社・湖陵地区): 合流までの代表1箇所を抽出する。管路番号が複数に渡っても可。
- 漁業集落排水事業: 路線管理とする。但し、路線延長20m未満は省略できるものとする。

電子納品対象資料と資料の格納場所(図面及び写真納品に係る特記)提出頻度

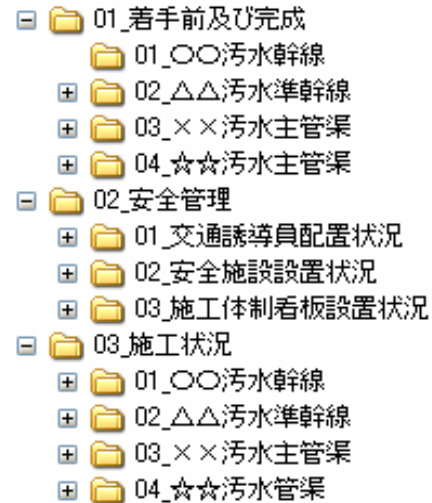
電子納品運用ガイドライン P15 図-3



…「提出頻度フォルダformat」参照。

写真フォルダ(提出頻度)整理に関する特記

提出頻度フォルダ構成



01_着工前及び竣工
各管渠(管路番号の場合は区間)の代表箇所を抽出し格納する。写真管理規準に準拠。

02_安全管理
1工事当り全景2、3枚代表箇所を抽出し格納する。写真管理規準に準拠。

03_施工状況
各管渠(管路番号の場合は区間)の代表箇所を抽出し格納する。写真管理規準に準拠。

提出頻度のフォルダ構成について

写真の保存先については、記載のフォルダ配列に基づき格納する。なお、提出頻度写真については、記載のフォルダ以外の写真は格納不要である。

提出頻度のCD作成について

写真保存は記載のフォルダ順とし、1枚のDiskに格納することを原則とするが、工事の規模に応じてDiskを追加できるものとする。但し、施工状況については、同一のCDに保存するものとする。

舗装工出来形管理に関する特記

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			備 考
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
3	2	6	5	1	アスファルト舗装工(下層路整工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 (施工中)	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 (整正後)		
						厚さ	各層毎200mに1回 (整正後)		
						幅	各層毎80mに1回 (整正後)		
3	2	6	5	2	アスファルト舗装工(上層路整工) 粒度調整路整工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 (施工中)	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 (整正後)		
						厚さ	各層毎200mに1回 (整正後)		
						幅	各層毎80mに1回 (整正後)		
3	2	6	5	3	アスファルト舗装工(上層路整工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 (施工中)	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 (整正後)		
						厚さ	1,000㎡に1回 (整正後) ※コアを採取した場合は写真 不要		
						幅	各層毎80mに1回 (整正後)		
3	2	6	5	4	アスファルト舗装工(加熱アス ファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 (施工中)	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 (整正後)		
						幅	各層毎80mに1回 (整正後)		
3	2	6	5	5	アスファルト舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 (整正後)	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 (敷布時)		
						幅	各層毎80mに1回 (整正後)		
3	2	6	5	6	アスファルト舗装工(表層工)	整正状況	400mに1回 (整正後)	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 (敷布時)		
						平坦性	1工事1回(実施中)		

舗装工の出来型管理については、島根県県共通仕様書各項目記載内容を次のとおり読み替える。

撮影頻度

県仕様書	各層毎〇〇mに1回
------	-----------

提出頻度

県仕様書	代表箇所各1枚
------	---------

下水道特記	各路線について、各層毎〇〇mに1回
-------	-------------------

下水道特記	各代表箇所各1枚
-------	----------

提出頻度各代表箇所とは、「別紙提出頻度抽出に関する特記」に準じる。

下水道工事 家屋調査報告書に関する特記

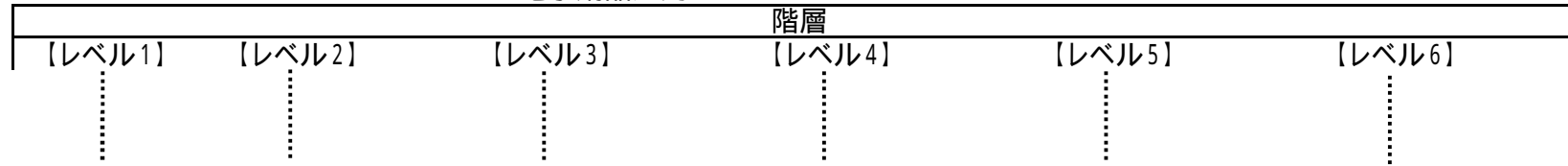
「下水道工事 家屋調査報告書」の作成については下記のとおりとする。

1. 下水道工事に伴う家屋調査に関する資料は、「下水道工事 家屋調査報告書」として、原則一つのファイルにまとめ提出すること。
2. 建物など事前・事後調査表、建物など事前・事後調査資料、建物など補修に関する資料、及び、参考図面は、「下水道工事 家屋調査報告書」に綴じること。
3. 建物など事前・事後調査表、建物など事前・事後調査資料、建物など補修に関する資料、及び、参考図面は、「下水道工事 家屋調査資料の電子化について、フォルダ構成及び名称の整理例」のとおり電子データ化し電子媒体に保存する。
4. 建物など事前・事後状況写真は、「下水道工事 家屋調査資料の電子化について、フォルダ構成及び名称の整理例」のとおり電子データ化し電子媒体に保存する。なお、写真プリント紙は、原則保存しない。
5. 「下水道工事 家屋調査報告書」は、A4サイズのチューブファイルを使用すること。
6. 電子媒体(DVD)は、A4サイズのプロテクトファイル(同等品)に収納し、「下水道工事 家屋調査報告書」のファイルに綴じること。
7. 「下水道工事 家屋調査報告書」のファイル表紙には、施工年度、工事名、受注者名を記載する。
8. 「下水道工事 家屋調査報告書」のファイル背表紙には、施工年度、工事名を記載する。

(参考 - 1) 写真原本のフォルダ構成及び名称 (撮影頻度) **整理例**

電子納品運用ガイドライン P20

階層



電子媒体
(写真原本)

写真

01_着手前及び完成

01_ 汚水幹

02_ 汚水準

01_着手前 (M1 ~ M2)
NN_完成 (M ~ M)

01_着手前 (M1 ~ M2)
NN_完成 (M ~ M)

02_施工状況

01_ 汚水幹

01_管路土工

01_M0 ~ M1

01_掘削
NN_埋戻

NN_1号マンホール工

NN_M1

01_掘削
NN_マンホール設置完了

NN_管路土留工

NN_MN ~ MN

01_矢板打込
NN_矢板引抜

...「撮影頻度フォルダformat」参照。

撮影頻度フォルダ構成

- 01_着手前及び完成
- 02_安全管理
- 03_立会確認
- 04_使用材料
- 05_指定機械
- 06_建設発生土処分場
- 07_産業廃棄物処理場
- 08_使用機械
- 09_品質管理
- 10_施工状況(補助)
- 11_施工状況(単独)

- 協賛案_H21撮影頻度サンプル
 - 01_着手前及び完成
 - 01_〇〇汚水幹線
 - 01_M0~M1
 - 02_M1~M2
 - 03_M2~M3
 - 02_△△汚水幹線
 - 01_M0~M1
 - 02_M1~M2
 - 03_M2~M3
 - 03_××汚水主管渠
 - 01_M0~M1
 - 02_M1~M2
 - 03_M2~M3
 - 04_☆☆汚水主管渠
 - 01_M0~M1
 - 02_M1~M2
 - 03_M2~M3
 - 02_安全管理
 - 01_交通誘導員配置状況
 - 02_安全施設設置状況
 - 03_酸素濃度測定状況
 - 04_施工サイン確認状況
 - 05_安全教育訓練状況
 - 06_災害防止協議会状況
 - 07_ハット状況
 - 08_施工体制看板設置状況
 - 03_立会確認
 - 01_推進部
 - 01_試掘調査
 - 02_既設舗装厚
 - 03_立坑工材料検収
 - 04_立坑深
 - 05_薬注材料(搬入)
 - 06_薬注施工サイン
 - 07_薬注空缶空袋
 - 08_薬液注入効果(鏡切)
 - 09_推進工(泥土圧)材料検収
 - 10_垂直推進材料検収(搬入)
 - 11_垂直推進空缶空袋
 - 12_土質立会
 - 13_路盤工
 - 02_開削部
 - 01_試掘調査
 - 02_既設舗装厚
 - 03_薬注材料(搬入)
 - 04_薬注施工サイン
 - 05_薬注空缶空袋
 - 06_矢板検収
 - 07_土質立会
 - 08_舗装影響立会
 - 09_路盤工
 - 03_下検査
 - 01_〇〇汚水幹線
 - 02_△△汚水幹線
 - 03_××汚水主管渠
 - 04_☆☆汚水主管渠
 - 04_使用材料
 - 01_工種
 - 02_工種
 - 03_工種
 - 05_指定機械
 - 01_工種
 - 02_工種
 - 03_工種
 - 06_建設発生土処分場
 - 01_A地
 - 02_B地
 - 07_産業廃棄物処理場
 - 01_アスファルト加酸
 - 02_コンクリート加酸
 - 03_汚泥
 - 08_使用機械
 - 01_工種
 - 02_工種
 - 03_工種
 - 09_品質管理
 - 01_工種
 - 02_工種
 - 10_施工状況(補助)
 - 01_〇〇汚水幹線
 - 02_△△汚水幹線
 - 03_××汚水主管渠
 - 11_施工状況(単独)
 - 01_☆☆汚水主管渠

(参考 - 2) 写真フォルダ(撮影頻度) 整理例

01_着手前及び竣工
管渠名(管路番号)マンホール間で整理する。
路線数が少ない場合、マンホール間のフォルダを省略し、写真に撮影箇所を記載してもよい。

02_安全管理
1工事(工事全体)当りの写真を各フォルダへ整理する。なお、工事内容に応じて項目は加除する。

03_立会確認
推進部・開削部フォルダ配下において、各工種監督員立会を行った写真を整理する。なお、島根県共通仕様書写真管理規準によれば、監督員立会を行った場合の写真については、不要としているが、参考写真とし、整理格納する。また、監督員事前検査(下検査)写真について、各路線ごと(管路番号)に整理格納する。

04_使用材料
1工事(工事全体)当りの写真を工種または品目ごとに整理する。
工種例:工種例:管渠工 品目例:推進管 等
工種の配下に品目のフォルダを作成してもよい。

05_指定機械
1工事(工事全体)当りの写真を工種ごとに整理する。
排出ガス対策型建設機械・低騒音型・低振動型建設機械「指定ラベル」が確認できる写真。
工種例:管渠工 工種例:舗装版撤去工 等
工種の配下に機械別のフォルダを作成してもよい。

06_建設発生土処分場
07_産業廃棄物処分場
1工事(工事全体)当りの写真を整理格納する。

08_使用機械
については、1工事(工事全体)当りの写真を工種ごとに整理格納する。
工種例:薬液注入工 等
工種の配下に機械別のフォルダを作成してもよい。

09_品質管理
1工事(工事全体)当りの品質管理写真を整理格納する。

10・11_施工状況
路線単位、工種ごとに整理格納する。
工事内容に応じて工種は加除する。出来型管理写真及び品質管理写真は施工状況写真に含める。

撮影頻度のフォルダ構成について
写真の整理については、左記のフォルダ配列を参考とする。

撮影頻度CD作成について

- 01_着手前及び完成
 - 02_安全管理
 - 03_立会確認
 - 04_使用材料
 - 05_指定機械
 - 06_建設発生土処分場
 - 07_産業廃棄物処理場
 - 08_使用機械
 - 09_品質管理
 - 10_施工状況(補助)
 - 11_施工状況(単独)
- Disk.1

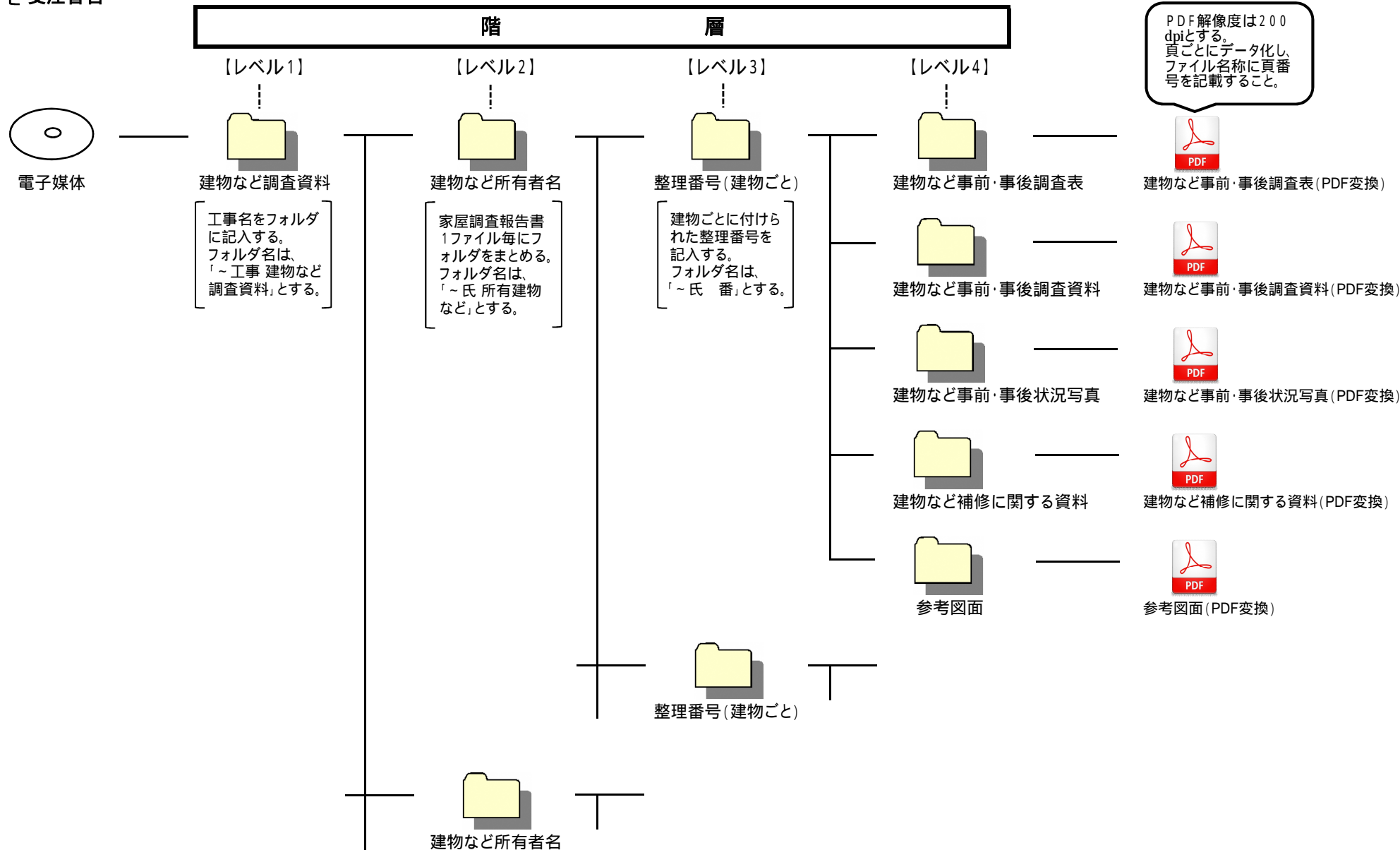
撮影頻度のCD作成について
左記のフォルダ順を参考とし、CDへ保存する。また、必要に応じてCDを追加できるものとする。但し、施工状況(補助)施工状況(単独)については、それぞれ同一CDに保存するものとする。

(参考 - 3) 下水道工事 家屋調査資料の電子化について、フォルダ構成及び名称の整理例

下図のとおり、「建物など事前・事後調査表」、「建物など事前・事後調査資料」、「建物など事前・事後状況写真」、「建物など補修に関する資料」、及び「参考図面」を電子データ化すること。

電子媒体(DVD)に下記を記入

- ・施工年度
- ・工事名
- ・受注者名



(参考 - 4) 下水道工事 家屋調査報告書 ラベル様式例

ファイル用ラベル
(背表紙用)

平成
年度

工事
家屋調査報告書

ファイル用ラベル
(表紙用)

平成 年度

工事

家屋調査報告書

受注者名 :

(調査業者名) :

DVD用ラベル

平成 年度

工事

家屋調査データ

建物など事前・事後 状況写真

事前・事後調査票、事前・事後調査
資料、補修に関する資料等

受注者名 :

(調査業者名):